

2022年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（全職員の各項目評価を%で記載しています）

公表日：2023年 3月 3日

法人名：社会福祉法人ヒューマンライツ福祉協会

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	72.7%	27.3%	法令を遵守したスペースを確保するとともにプログラム別の場所も確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	72.7%	27.3%	法令で必要とされている職員数に加え、児童指導員、障害福祉経験者、または従業者を1名以上配置（常勤換算による算定）しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	90.9%	9.1%	エレベーターの完備、各デイルームのフラット化により、すべてのお子さんにご利用しやすいようにバリアフリー化を行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	72.7%	27.3%	P D C Aサイクルによる業務改善の適切に効果を上げるために、現状の適切な認識・把握と、事業所内での意思の疎通・情報共有を図っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	72.7%	27.3%	毎年、利用者満足度調査を実施して保護者等の意向を把握し、利用者満足度調査結果分析シートを作成して改善に努めています。また、厚生労働省が定める“放課後等デイサービスガイドライン”に基づき保護者向け評価表も活用して業務改善に取り組んでいます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	90.9%	9.1%	放課後等デイサービス評価を、法人のホームページにて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	54.5%	45.5%	プライバシーマーク（PMS）認証を取得して第三者機関による審査を受けています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	72.7%	27.3%	子どもの支援の質の向上を図るため、年間をとおして、すべての職員へ外部研修への参加を促進しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	72.7%	27.3%	個別面談時に法人内放課後等デイサービス共通のアセスメントシートを用いて、また発達検査やサービス等利用計画も参考にして放課後等デイサービス計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	63.6%	36.4%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	90.9%	9.1%	子どもたちひとりひとりの状況に応じたサポートに向けて、①小学校1年生から高校3年生まで、子どもたちのライフステージに応じた切れ目のないサポート②子どもたちの声に応じた適切なサポートの提供と質を向上③地域住民、学校、家族の方に呼びかけて地域に開かれた事業所にしていくことに取り組んでいます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	90.9%	9.1%	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	90.9%	9.1%	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	81.8%	18.2%	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	72.7%	27.3%	毎日、朝礼にてお子さんの出欠・様子、プログラム内容等の確認をして役割分担を確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100.0%	0.0%	毎日、終礼にてお子さんの様子、保護者からの引き継ぎ、支援の内容等の振り返りを行い職員間で共有化しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	72.7%	27.3%	日々の支援の内容については、個別記録を作成して検証・改善につなげています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	63.6%	36.4%	6か月に1度の頻度で保護者の方との面談をとおしてモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを、ケースカンファレンスにて検討し了承を得ています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	80.0%	20.0%	子どもたちのかけがえない個性を尊重し、その能力や可能性を伸ばしていくため、子どもたちが自分で選べる、“ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせた”豊富なプログラムを用意し、子どもたちのライフステージに応じたバックアップを心がけています。

2022年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（全職員の各項目評価を%で記載しています）

公表日：2023年 3月 3日

法人名：社会福祉法人ヒューマンライツ福祉協会

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100.0%	0.0%	相談支援事業所のサービス担当者会議には基本的には児童発達支援管理責任者又はお子さんの担当者が出席することとしています。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100.0%	0.0%	保護者の方から随時情報提供いただくと共に、お子さんの在籍している学校と連携して子どもの下校時間の確認や送迎時の対応等について情報共有、連絡調整をしています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	-	-	現在、医療的ケアが必要な児童のご利用はありません。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	55.6%	44.4%	日頃より、当協会の児童発達支援事業所と連携して情報共有と相互理解に取り組み、子どもたちひとりひとりのライフステージに応じた切れ目のない支援に努めています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	81.8%	18.2%	保護者の方のお申し出で、障害福祉サービス事業所等へ情報提供が必要な場合、学年別のアセスメントシート等の支援内容の情報を提供できるように5年間保管しています。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	72.7%	27.3%	毎月、スーパーバイズを招いて子どもの支援や職員の教育研修について助言や研修を受けています。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	36.4%	63.6%	長期休暇やイベントを活用して地域住民の方や子どもたちと交流する機会を設けています。2022年度は新型コロナの影響で機会の設定が難しかったです。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	72.7%	27.3%	西成区の（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しています。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	90.9%	9.1%	サービス担当者会議や送迎時を活用して、日頃からお子さんの状況を共通理解するように努めています。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	63.6%	36.4%	保護者会 S U N Oの方々と連携して子育て等の研修会を開催しています。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	81.8%	18.2%	事業契約時において契約書・重要事項説明書の説明を行い署名・捺印を頂いています。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	81.8%	18.2%	保護者の方と“いっしょに子育て”をする姿勢に立ち、経験のあるスタッフがサポートをさせて頂いています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	81.8%	18.2%	保護者会 S U N Oと連携してイベントの開催等をととして保護者同士、事業所・保護者連携に取り組んでいます。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	90.9%	9.1%	法人として“ひやりはつ”“事故報告書”“利用者等情報受付表”を整備しています。そして事業所にて、リスクマネジメント委員会を毎月開催して、事故・苦情等の予防・是正に取り組んでいます。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	63.6%	36.4%	子ども・保護者への情報発信を充実させるために I C Tシステムの導入、デイサービス通信のホームページの公表に取り組んでいます。また毎月、ご利用確認カレンダーを発行して、活動・行事内容を発信しています。
	35 個人情報に十分注意しているか	100.0%	0.0%	法人としてプライバシーマーク（ P M S ） 認証を取得して「個人情報保護マネジメントシステムを確立し、「個人情報」を安全に管理する体制を整え、運用しています。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100.0%	0.0%	お子さん、保護者の方の状況に留意して意志の疎通や情報伝達に努めています。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	72.7%	27.3%	毎年、地域各種団体と連携して、夏まつりを開催し地域住民、家族等200名程度の方々にご参加いただいています。（今年度は感染症予防の為、中止しました。）

2022年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（全職員の各項目評価を%で記載しています）

公表日：2023年 3月 3日

法人名：社会福祉法人ヒューマンライツ福祉協会

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	90.9%	9.1%	放課後等デイサービス、感染症マニュアル等を整備して職員に周知しています。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	81.8%	18.2%	長期休暇を活用して、消防署と連携して避難訓練に取り組んでいます。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	90.9%	9.1%	毎年、虐待等の人権にかかわる研修を実施しています。 2022年度は感染症の影響で研修に参加できないことが多かったです。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	72.7%	27.3%	どのような場合があっても身体拘束をしないことを職員に周知、徹底しています。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	90.9%	9.1%	保護者から食物アレルギーの情報を把握し、名簿にアレルギー一覧を作成して、職員に周知しています。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	90.9%	9.1%	ひやりはつと報告を強化して、リスクマネジメント委員会にて予防処置の検討・実施に取り組んでいます。
合 計		79.6%	20.4%	⇔2022年度 放課後等デイサービス自己評価合計